

3-3 健やかな暮らしを育むささえあい社会の構築

331 健康づくりの推進

33101 健康づくり活動の推進

(主担当:保健衛生室 健康増進課)

取組内容

1. 平成 16 年度に策定した紀南地域の広域健康づくり計画(きなん地方計画)を市町村を中心とする関係機関との連携により計画的に実施します。
2. 社会情勢に応じた地域保健活動を推進するため、地域や関係団体等の健康づくり担当者との検討会や研修を実施し支援します。
3. 「ヘルシーピープルみえ・21」推進に基づき、生活習慣の中の運動、喫煙の適正化に向けて学校、企業、NPO等と協働で環境づくりを推進していきます。
4. 「健康長寿日本一」の地域づくりをめざし、第2次実施計画によるげんき夢システムを元に官民協働の取り組みを推進しています。本年度は、10 年計画の最終年度として、健康づくり活動を中心に今後の地元市町や住民自らが継続して実施できる体制整備に取り組みます。

1 健康づくり総合推進事業

(1) きなん地方計画推進会議の開催

平成 16 年 3 月に策定した紀南地域健康づくり計画である「ヘルシーピープルみえ・21 きなん地方計画」に基づき、紀南地域の課題として 8 分野（食育・思春期・糖尿病・こころの健康づくり・健診・運動・療育・受け皿）を中心に、所内または管内市町保健師会議で検討を行いながら、課題別優先度の高いものから取り組みを行っています。

推進会議 平成 20 年 1 月 29 日

(2) ヘルシーピープルみえ・21 の推進

地域で開催されるイベントなど様々な機会を活用して、ウォーキングを中心とした運動や、受動喫煙の防止、食育や食事バランスガイドの啓発を行いました。

時期	名称	対象	人数 (概数)	主な啓発内容
5 月	防煙教育 (木本高校定時制)	学生	28	受動喫煙防止、喫煙防止対策
11 月	世界エイズデー街頭啓発	住民	400	エイズについて正しい知識の普及
12 月	紀宝町健康祭り	住民	150	食育・食事バランスガイド・運動・ 受動喫煙防止・8020 運動

2 紀南健康長寿リーディングエリア形成事業

第2次実施計画に基づき、県民起点の観点から健康づくりを推進するため、各市町の協力のもと、以下のような取組を行いました。

- (1) 「げんき夢大学」：健康に関する講座を開催し、健康の維持・増進を図りました。
(受講者数 180名)
- (2) 「げんき夢部会活動」：「健康づくり部会」、「福祉用具部会」、「みんなが救急救命士部会」、「アニマル療法研究部会」、「ゆる体操部会」、「生きがい産業・寺小屋21部会」等の活動を支援し、その普及・定着を図りました。特に、「ゆる体操」はマスコミ等により、紀南地域外にも情報発信されました。
- (3) 「げんき夢クラブ活動」：クラブ活動に対する支援を行うことによって、その活動の更なる定着化を図りました。(組織数 73名)
- (4) 「園芸療法普及活動」：園芸療法及び園芸福祉活動の更なる定着化を図りました。また、熊野市が実施している「花いっぱい運動」と連携し、事業展開を行っています。これらにより、地域や施設において、園芸療法ボランティアの協力を得ながら園芸療法の実践に繋がっています。(ボランティア数 45名)

平成9年度策定の「紀南健康長寿モデルエリア計画『げんき夢プラン』」を推進するため、平成10年度から一次実施計画、第二次実施計画に沿って、健康と生きがいに満ちた先導的な健康福祉エリアづくりを県と紀南地域の市町や関係機関、住民など官民協働で、広域的に取り組んできました。

この結果、① ボランティアの育成や、地域活動グループの組織化により、地域住民が、「健康づくり」、「生きがいづくり」、「地域づくり」に主体的に取り組む環境が整備され、② 活動グループが園芸福祉や健康食の普及、ゆる体操を取り入れた健康づくり、身体の不自由な方の自助具の製作、生きがいづくりのための苔ボール教室の開催等自主的な活動を展開し、いろいろな地域の課題に対応すべく、住民が自主的に参加し、健康で生きがいを持って生活できる地域の実現に向けた自立した活動が行なわれるようになりました。

しかしながら、紀南地域は急激な過疎高齢化や生活習慣病など多くの健康課題があり、これらに対応するため、今後も、地域の健康課題に即した効果的な「健康づくり対策」の推進が求められています。